

Market Watching

発表日: 2020年10月19日(月)

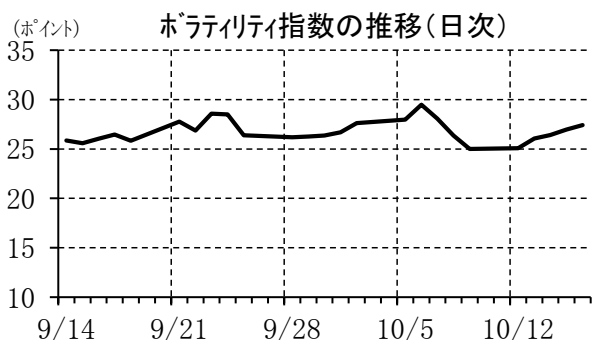
中国の回復は本物か、それともただの反動か(マーケットウィークリー)
~近づく大統領選と欧米の感染再拡大もあって市場は身動きとれず~

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL: 03-5221-4521)

【先週の市場動向】

先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
10月12日(月)	日本: 機械受注統計(8月)・船電除く民需	▲15.2%	▲15.6%	▲16.2%	前年比
10月13日(火)	中国: 貿易統計(9月)・輸出	+9.9%	+9.5%	+9.5%	前年比
	中国: 貿易統計(9月)・輸入	+13.2%	▲0.3%	▲2.1%	前年比
	インドネシア: 金融政策決定会合	4.00%	4.00%	4.00%	7日物リバースレボ [®] 金利
	英国: 失業率(9月)・失業保険受給ベース	7.6%	—	7.6%	
	ドイツ: ZEW景況感調査(10月)・期待指数	+56.1	+72.0	+77.4	ポイント
	米国: 消費者物価指数(9月)・総合	+1.4%	+1.4%	+1.3%	前年比
10月14日(水)	ユーロ: 鉱工業生産(8月)	+0.7%	+0.7%	+4.1%	前月比
	米国: 消費者物価指数(9月)	+1.7%	+2.0%	+2.4%	前年比
10月15日(木)	米国: NY連銀製造業景気指数(10月)	+10.5	+12.0	+17.0	ポイント
	米国: フィテ [®] ルフィア連銀製造業景況感指数(10月)	+32.3	+15.0	+15.0	ポイント
	米国: 新規失業保険申請件数(10/10終了週)	898	825	840	千件
10月16日(金)	米国: 小売売上高(9月)・全体	+1.9%	+0.7%	+0.6%	前月比
	米国: 小売売上高(9月)・除自動車	+1.5%	+0.4%	+0.7%	前月比
	米国: 鉱工業生産指数(9月)	▲0.6%	+0.7%	+0.4%	前月比
	米国: ミシガン大学消費者信頼感指数(10月速報値)	81.2	80.5	80.4	ポイント
	米国: 企業在庫(8月)	+0.3%	+0.4%	+0.1%	前年比
10月17日(土)	—				
10月18日(日)	—				



主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.746	▲2.8	+0.6	▲144.0	0.138	0.140	0.413
日本	0.020	▲1.0	+0.5	+18.5	0.018	0.022	-0.002
ドイツ	-0.622	▲9.5	▲13.8	▲23.5	-0.525	-0.487	-0.453
豪州	0.722	▲12.8	▲14.6	▲32.7	0.831	0.871	0.913
株価							
NYダウ	28606.31	+0.1	+2.0	+5.9	27898	27514	26205
日経平均	23410.63	▲0.9	▲0.3	+4.2	23405	23022	21873
ユーロSTOXX50	3245.47	▲0.8	▲2.8	▲9.8	3236	3284	3221
上海総合	3336.36	+2.0	+1.6	+12.0	3270	3319	3059
為替相場							
ドル/円	105.40	▲0.2	+0.4	▲3.1	105.39	105.99	107.38
ユーロ/円	123.48	▲1.2	▲0.4	+2.5	123.88	124.20	121.08
豪ドル/円	74.63	▲2.4	▲2.7	+1.5	75.58	75.88	72.86
ユーロ/ドル	1.1718	▲0.9	▲0.8	+5.8	1.175	1.172	1.128
商品市況							
WTI	40.88	+0.7	+1.8	▲23.4	39.89	40.78	37.60
金	1900.8	▲1.0	▲3.1	+27.7	1906	1914	1755

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (10/12~10/16) の金融市場は、米大統領選挙が近づく一方、欧州では新型コロナウイルスの感染再拡大を受けて経済活動への制約が強まりつつあるなど、先行き不透明感が増す中で方向感に欠ける展開が続いた。米国では、大統領選挙を前に追加景気対策の行方に注目が集まっているが、選挙前に実行される可能性は低くなったとみられ、市場のリス許容度を低下させる要因となった。一方で、週末に発表された米小売売上高は市場の事前予想を上回り、引き続き米個人消費が好調さを保っていることが判明、景気対策の遅れに対する市場の警戒感を少し和らげる結果となった。

今週のマーケットは、前週に続き米大統領選挙や欧米の感染などが市場の動きを重くさせる要因となろう。週前半には中国で7~9月期の経済成長率のほか、9月分の小売売上高など主要月次指標が発表される。一足早く新型コロナウイルスの感染が沈静化し、経済活動を再開させている中国だが、ロックダウン解除後もしばらく景気の回復ペースは緩慢なものとなっていた。ようやく、夏場頃からは輸出や個人消費の回復傾向が明確化しはじめており、中国景気の回復に対する市場の期待は高まっている。7~9月期の成長率は前期から高まるとみられるが、感染拡大前の6%には達しないというのが市場のコンセンサスとなっている。もっとも、世界が注目するのは中国経済がさらに加速していくかどうかということで、それには直近の月次統計の方が重要度は高い。とくに、感染拡大前から鈍化傾向が続いていた小売売上高は、その基調から脱するかどうかで、足元の中国経済の回復が世界経済を牽引するものなのか、それとも単なる反動的なものなのかが見えてくる。判断にはもうしばらく基調を見る必要はあるが、今後の世界経済や市場のリスク選好度合いを測る上でポイントとなろう。週後半には米大統領選前最後のTV討論会が行われる。これが決定打になることもないだろうが、ポイントはバイデン候補がトランプ大統領との支持率の差を広げられるかどうかだろう。

【今週のマーケット環境】

今週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
10月19日(月)	日本：貿易統計(9月)・輸出	★★★★	▲2.2%	▲14.8%	前年比
	・輸入		▲21.4%	▲20.8%	前年比
	・貿易収支		+9,807	+2,486	億円
	中国：実質GDP(7-9月)	★★★★	+5.4%	+3.2%	前年比
	中国：鉱工業生産(9月)	★★★★	+5.8%	+5.6%	前年比
10月20日(火)	中国：小売売上高(9月)	★★★★	+2.0%	+0.5%	前年比
	中国：固定資産投資(9月)		+0.9%	▲0.3%	年初来前年比
10月20日(火)	米国：住宅着工件数(9月)	★★	145.0	141.6	万件
10月21日(水)	—				
10月22日(木)	トルコ：金融政策委員会	★	11.75%	10.25%	1週間物レバ金利
	米国：新規失業保険申請件数(10/17終了週)	★★★★	865	898	千件
	米国：中古住宅販売件数(9月)	★	620	600	万件
10月23日(金)	日本：全国消費者物価指数(9月)・総合		0.0%	+0.2%	前年比
	・除生鮮食品	★★	▲0.4%	▲0.4%	前年比
	日本：PMI製造業景気指数(10月)		—	47.7	ポイント
	PMIサービス業景気指数(10月)		—	46.9	ポイント
	英国：小売売上高(9月)・除自動車燃料	★	+0.5%	+0.6%	前月比
	ユーロ：PMI製造業景気指数(10月)	★★★★	53.0	53.7	ポイント
	PMIサービス業景気指数(10月)	★★★★	47.0	48.0	ポイント
	米国：PMI製造業景気指数(10月)	★	53.5	53.2	ポイント
PMIサービス業景気指数(10月)	★	54.6	54.6	ポイント	
10月24日(土)	—				
10月25日(日)	—				

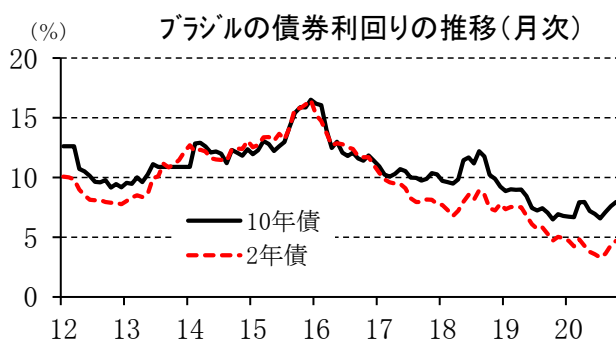
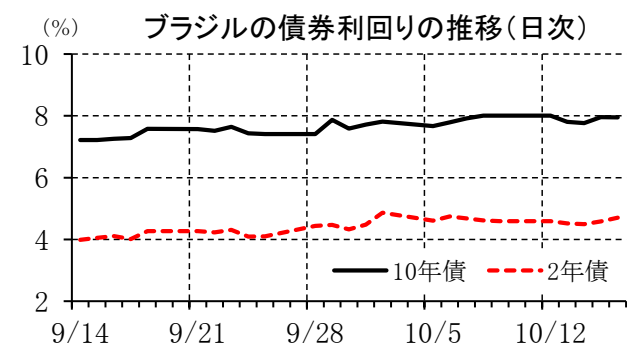
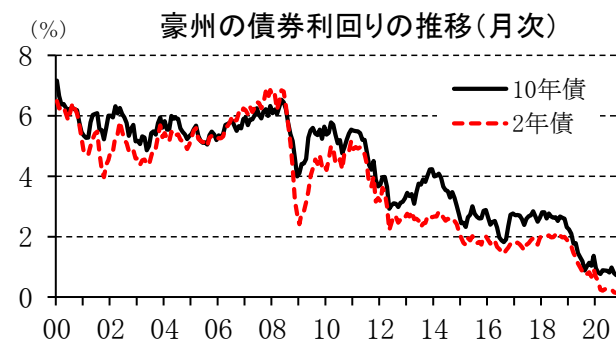
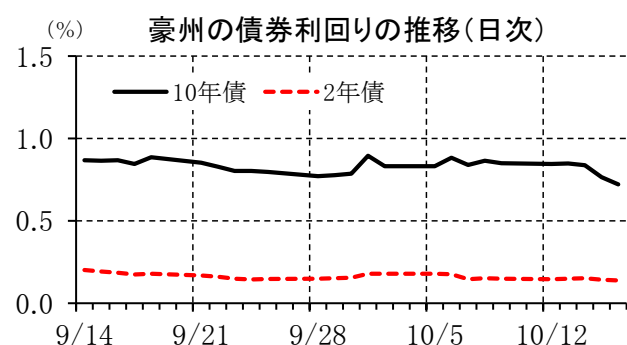
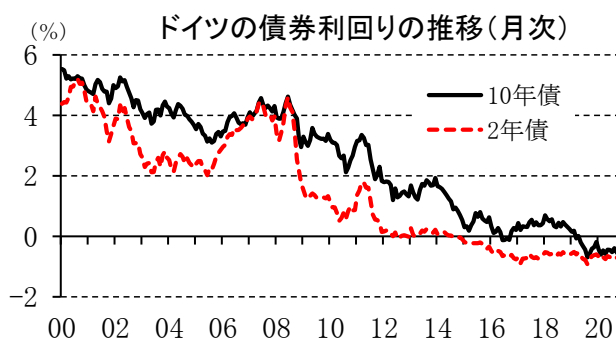
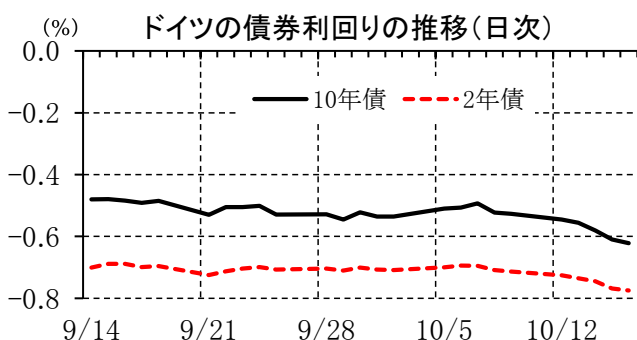
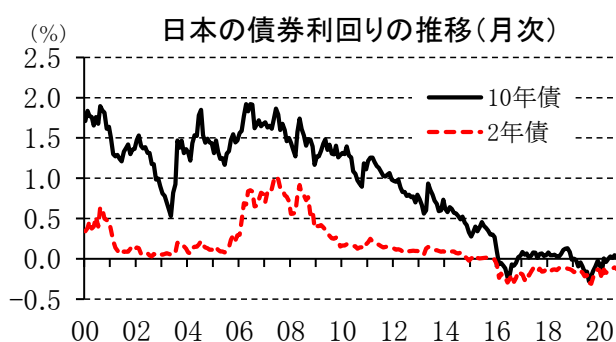
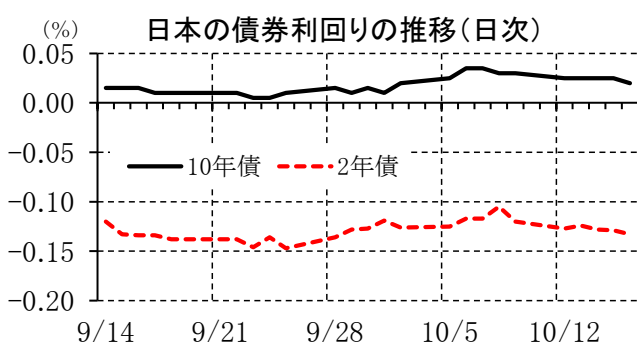
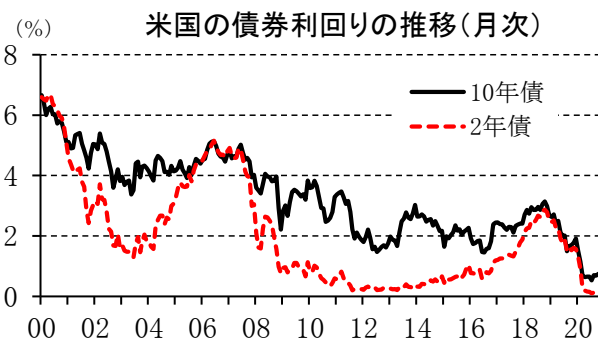
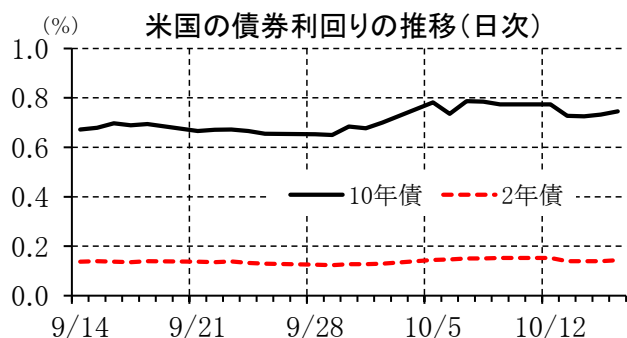
(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

その他の注目イベント・材料

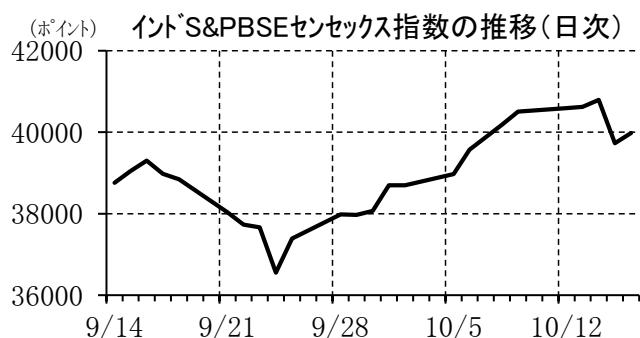
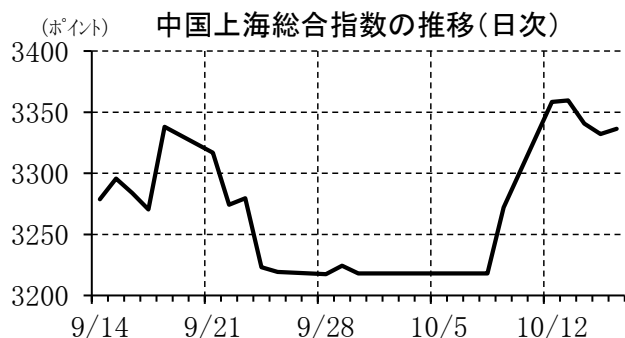
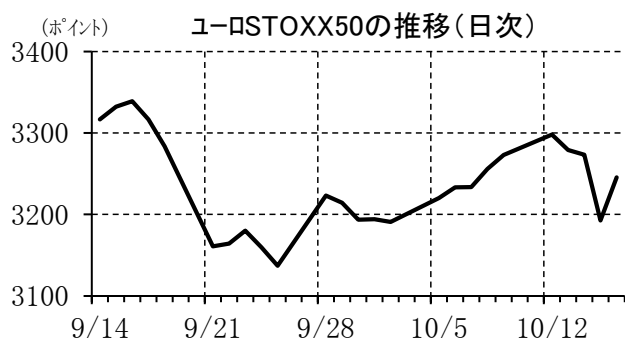
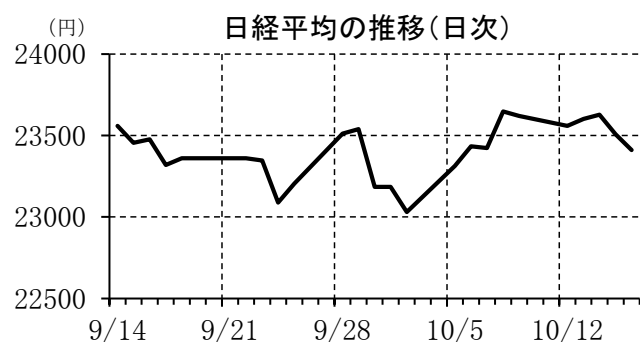
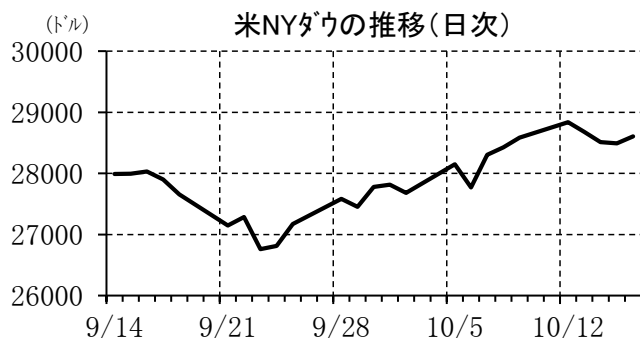
発表日	イベント	注目度	備考
10月19日(月)	米国：パウエルFRB議長IMFハルバチク初討論会出席	★★	
	ユーロ：ラガルトECB総裁講演	★★★★	
10月20日(火)	米国：NY連銀総裁講演	★	
10月21日(水)	日本：桜井日銀審議委員講演		
	米国：ベーンズブック	★★★★	
10月22日(木)	英国：ベリイ-BOE総裁講演	★	
	米国：第3回米大統領候補者討論会	★★★★	
10月23日(金)	日本：月例経済報告		
10月24日(土)	—		
10月25日(日)	—		

(注) 各種報道等による。注目度は筆者。

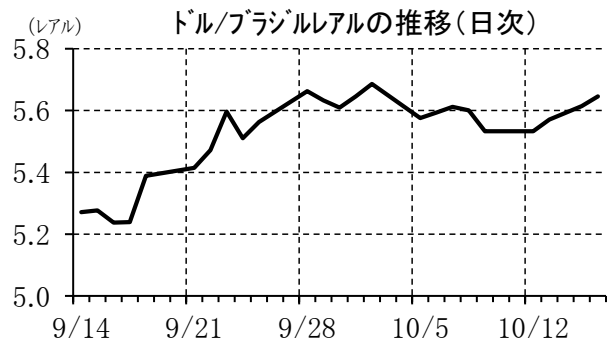
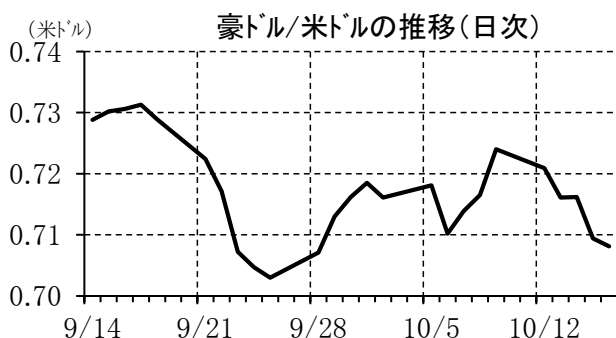
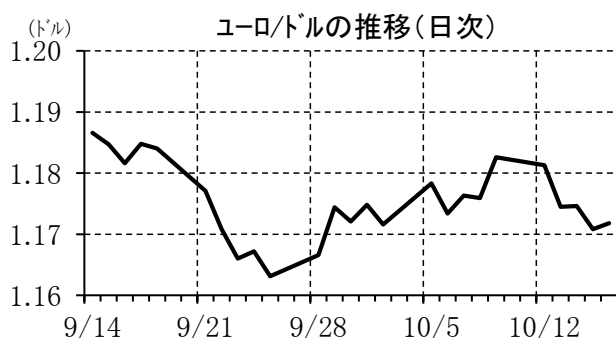
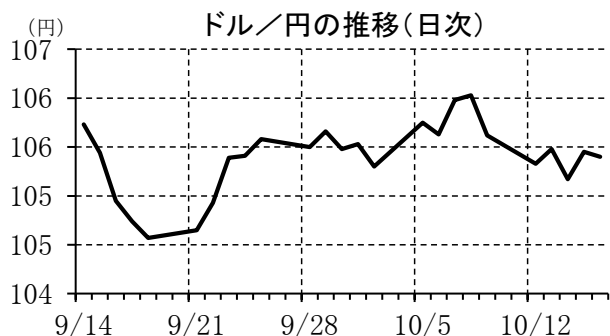
【債券利回り】



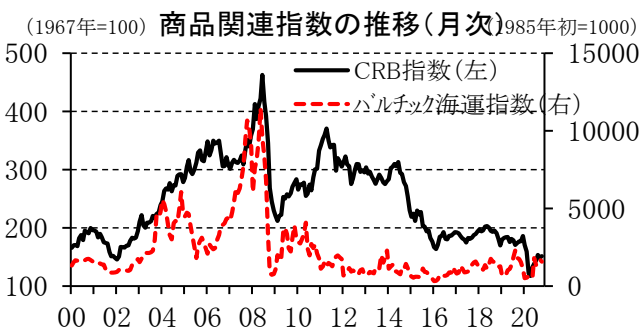
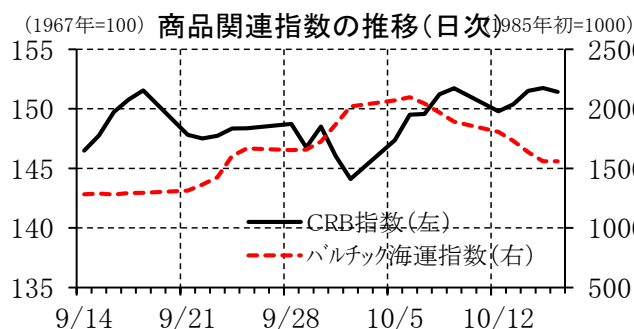
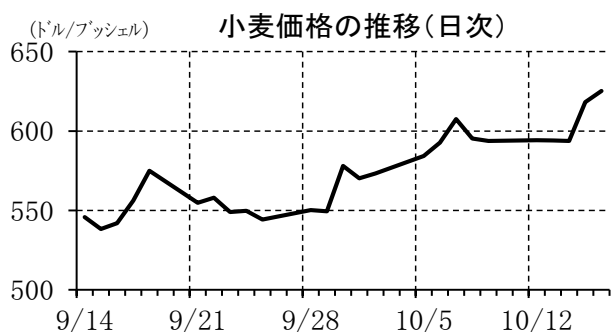
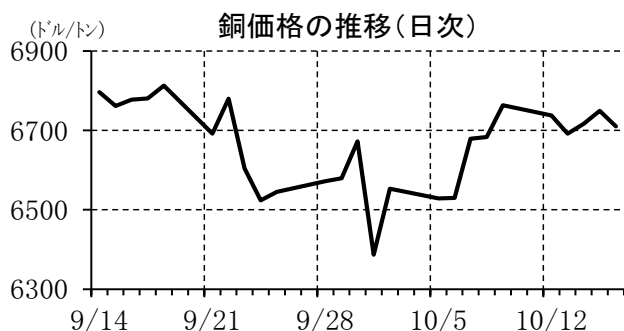
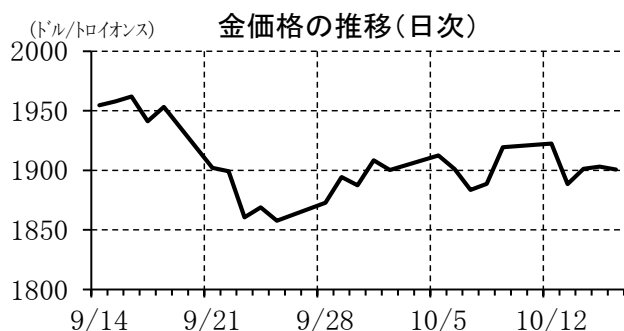
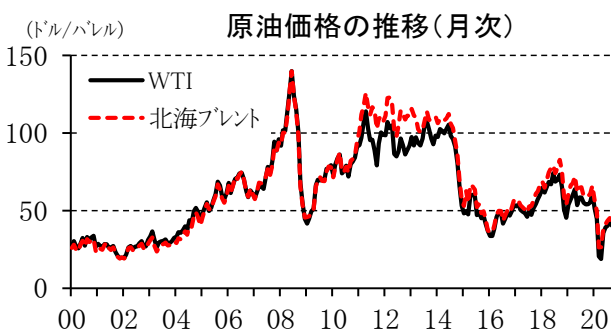
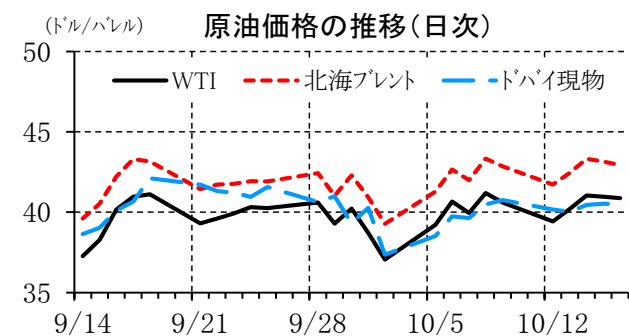
【株価指数】



【為替相場】



【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。